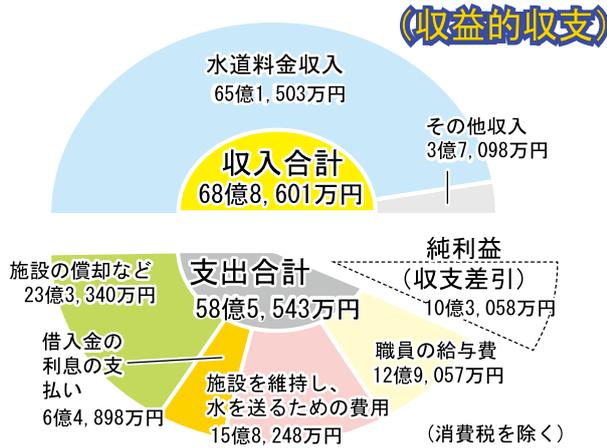


# 平成24年度 水道事業会計決算

南海地震対策として施設の耐震化への取組が急がれる一方、水需要の低迷から厳しい状況に置かれていますが、経営改善の継続により健全財政を確保するとともにサービスの向上に心がけ、市民に信頼される水道事業を目指してまいります。

## ご家庭に給水するための収入支出



収入は約68億8千6百万円、支出は約58億5千5百万円で純利益は約10億3千1百万円となりました(消費税を除く)。この純利益は、資本的支出における借入金(企業債)の元金返済に充てるため減債積立金に積み立てる予定です。

また、収入のうち料金収入については、前年度に比べて使用水量が減少したことなどから約1億4千8百万円の減額となりました。

## 平成24年度に実施した主な事業

### ■ 送配水施設整備事業

鴨部ほかで配水管を約1.6キロメートル布設しました。

### ■ 漏水防止対策事業

新本町二丁目・丸ノ内一丁目ほかで約4.7キロメートルの老朽石綿管・铸铁管の布設替をおこないました。また市内全域で延べ約1,167キロメートルの漏水調査をおこない、478件の漏水箇所を発見しました。

### ■ 災害対策事業

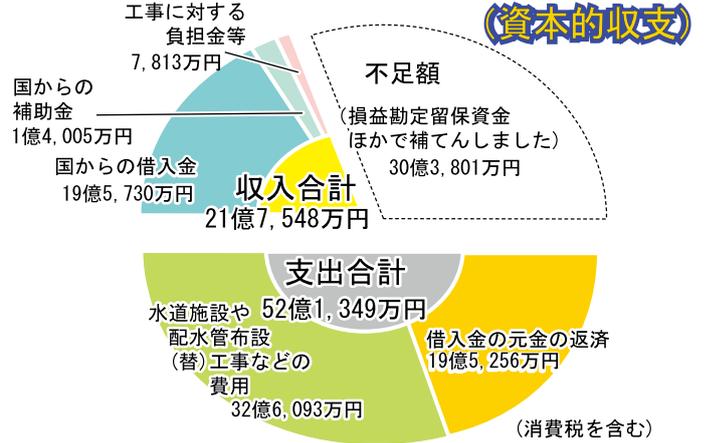
鏡川水道橋左岸側耐震補強工事が完成し、春野町南ヶ丘配水池に6基目となる緊急遮断弁を設置しました。

森山配水池の耐震性詳細診断委託業務などをおこないました。

針木浄水場から九反田配水所まで送水幹線を新たに耐震管で布設する送水幹線二重化事業の2工区築造工事に着手しました。



## 水道施設を整備・拡充するための収入支出



収入は約21億7千5百万円、支出は約52億1千3百万円となり、約30億3千8百万円の収支不足となりました(消費税を含む)。この不足額につきましては、損益勘定留保資金(企業会計上、収益的収支において、減価償却費などの現金支出を伴わずに内部に留保される資金)、減債積立金などで補てんしました。

また、企業債は国の制度を利用して約4億9千5百万円の繰上償還を実施し、年度末残高は254億5千8百万円(平成23年度末に比べ約5百万円の増)となっています。

### ■ 増補改良事業

介良中野団地ほかで配水管布設替・移設工事をおこないました。平成22年度からの継続事業である旭浄水場(導水施設)更新事業につきましては、工事が完成し3年間の事業を完了しました。また、平成21年度からの継続事業である旭浄水場(配水施設)更新事業は、場内整備工事が平成25年度に繰り越したものの、2号・3号配水池が完成し、供用を開始しました。また、水質管理のため市内2か所への自動水質監視装置の増設工事をおこないました。

### ■ 簡易水道施設改良事業

国の補助事業としておこなう鏡小浜簡易水道施設整備事業で、配水池等の施設等整備工事や配水管布設事などをおこないました。

### ■ 水源地域対策事業

水源地域との交流事業として「水のふるさとフェスティバル」や「高知分水体感バスツアー」などをおこないました。